

本好きには天国のような街

今は「読書週間」。子供や大人が読書の大切さを確かめるのにちょうどいい時期です。アイドルグループ「AKB48」の中でも読書好きで知られるメンバー2人が、160以上の古書店が集まる「世界一の本の街」東京・神田神保町をおとずれました。

メンバーは、嶽本野ばらさんの小説が大好きな内田真由美さん（17）と、アニメオタクで時代小説もよく読むという田名部生来さん（18）。古書店の多さにびっくりしながら、100年近い歴史がある、映画・演劇の専門店「矢口書店」をおとずれました。

「図書室の本より古そう！」などと話すうちに、2人は1980年代のアイドル雑誌を発見。「髪形が今の流行」と連つけどカワイイ！「薬師丸ひろ子さんだ！」。世代が違っても同じアイドル、気になるようです。

「当時の広告を見ているだけでも楽しいでしょ」とほほ笑む店主の矢

AKB48メンバー 神田を探検

口舌也さん。「古書店がたくさん集まった理由は、近くに学校や、出版社が多かったからといわれています」

2人が次に入ったのは「鳥海書房」。店長の鳥海洋さんが「動物や植物の本をたくさんそろえたお店です」とむかえてくれました。

内田さんが「私ほつりに興味が。

お父さんによく連れて行ってもらったから」と話すと、鳥海さんはつりのコーナーへ。そこにはつり方だけでなく、つりをテーマにしたエッセーや外国の本がズラリ。「目的の本をさがすうちに、新たな本の発見ができるはずですよ」と鳥海さん。めずらしい象皮の表紙の本も見せてくれました。



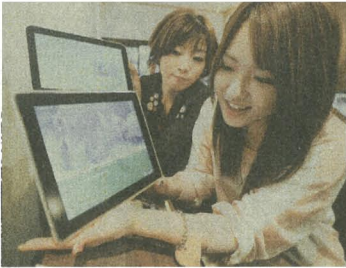
東京・神田神保町の古書店街を楽しそうに歩く内田真由美さん（右）と田名部生来さん

電子書籍の動画に大喜び 新幹線の席にもほしい！

神田神保町には今年9月、電子書籍を体験できる注目スポット「e読書ラボ」がオープン。内田さんと田名部さんもさっそく向かいました。

そこは国立情報学研究所の連想情報学研究開発センターの実験公開スペースで、室内にはiPad（アイパッド）など、電子書籍を読める国内外の端末10種類が、たのみにズラリ。

むかえてくれたのは同センターの阿辺川武先生で「たなの下に紙の本もあり、電子書籍と見くらべることができま



電子書籍を体験して「すごいリアル！」と喜ぶ内田真由美さん（手前）と田名部生来さん（東京・神田神保町の「e読書ラボ」）

の本にはいろいろな動物の絵でいたらカッコいい」と話すのスタンプがおしてあり、表と、内田さんも「ぶあつい本と照らし合わせれば、その本を讀みたくなったら電子書籍の電子書籍がどの端末に入っているか分かる仕組みです。

さっそく内田さんはベストセラー「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」をメカネやコンタクトがなくても、自分の視力に合わせて画面と読みくらべてみま

でカバが泳ぐ動画を見て「カバ、カワイイ」と大喜び。端末には文庫本サイズのものもあり、田名部さんが「電